

令和7年6月13日

報道解禁（文化審議会文化財分科会終了後）

- テレビ・ラジオ・インターネット  
令和7年6月20日（金） 17:00
- 新聞  
令和7年6月21日（土） 朝刊

担当課：福岡県教育庁教育総務部  
文化財保護課  
直通：092-643-3875  
内線：5388  
担当：野木

## 国登録記念物（名勝地関係）の新登録について

- 国の文化審議会（会長 しまたにひろゆき 島谷弘幸）は、令和7年6月20日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、登録記念物として、新たに6件を登録するよう、文部科学大臣に答申する予定です。
- この中で、福岡県関連の登録記念物は1件で、官報告示後、福岡県内の国登録記念物（名勝地関係）は、計3件となる予定です。

[国登録記念物（名勝地関係）の登録に係る答申予定]（福岡県関係：1件）

- ・ きゅうほうざんかくていえん 旧豊山閣庭園（きゅうりょかん たがわ 旧旅館田川）（北九州市）

なお、別添資料の写真についてはデータ提供可能です。

<本資料に関する問合せ先>

福岡県教育庁教育総務部文化財保護課（担当：野木<sup>のぎ</sup>）

電話：092-643-3875

<旧豊山閣庭園（旧旅館田川）に関する問合せ先>

北九州市都市ブランド創造局総務文化部文化企画課（担当：塚本<sup>つかもと</sup>）

電話：093-582-2391

## [国登録記念物（名勝地関係）の説明]

### きゅうほうざんかくていえん きゅうりよかん たがわ 旧豊山閣庭園（旧旅館田川）

所在地 福岡県北九州市小倉北区ふるせんぼまち古船場町

#### 概要

旧豊山閣庭園は北九州市小倉北区の古船場町沿いを流れるかんたけがわ神嶽川東岸に位置する。ほうこく豊国炭鉱を経営していたやまもと き さぶろう山本貴三郎（1846～1899）は明治22年（1889）に古船場町に邸宅を構えたが、明治32年（1899）に急死し、その後大正4年（1915）に実業家のこばやしとくいちろう小林徳一郎（1870～1956）が邸宅を購入する。小林は山本が急死する数年前から古船場町に居住し、山本の世話で実業家になった人物であった。小林は、豊国炭鉱と山本貴三郎から一字ずつ取り、購入した邸宅を「ほうざんかく豊山閣」と名付けた。豊山閣は昭和24年（1949）に売却され旅館となり、現在も宿泊施設として営業を続けている。

旧豊山閣庭園は、東西約40m、南北約20mの石組護岸の園池を中心とし、園池の東に滝を設け、南からは流れがつながっている。園池の周囲には飛石や砂利敷きの園路がめぐり、植栽は、マツ類を中心に、マキ類、カエデ類、ホルトノキ等の高木、サツキツツジ等の低木が植えられている。

旧豊山閣庭園は炭鉱経営者が造営した庭園を元とし、その後宿泊施設の庭園として現在まで受け継がれてきたもので、造園文化の発展に寄与した意義深い事例と言える。

#### <参考>

福岡県内の国登録記念物（名勝地関係）

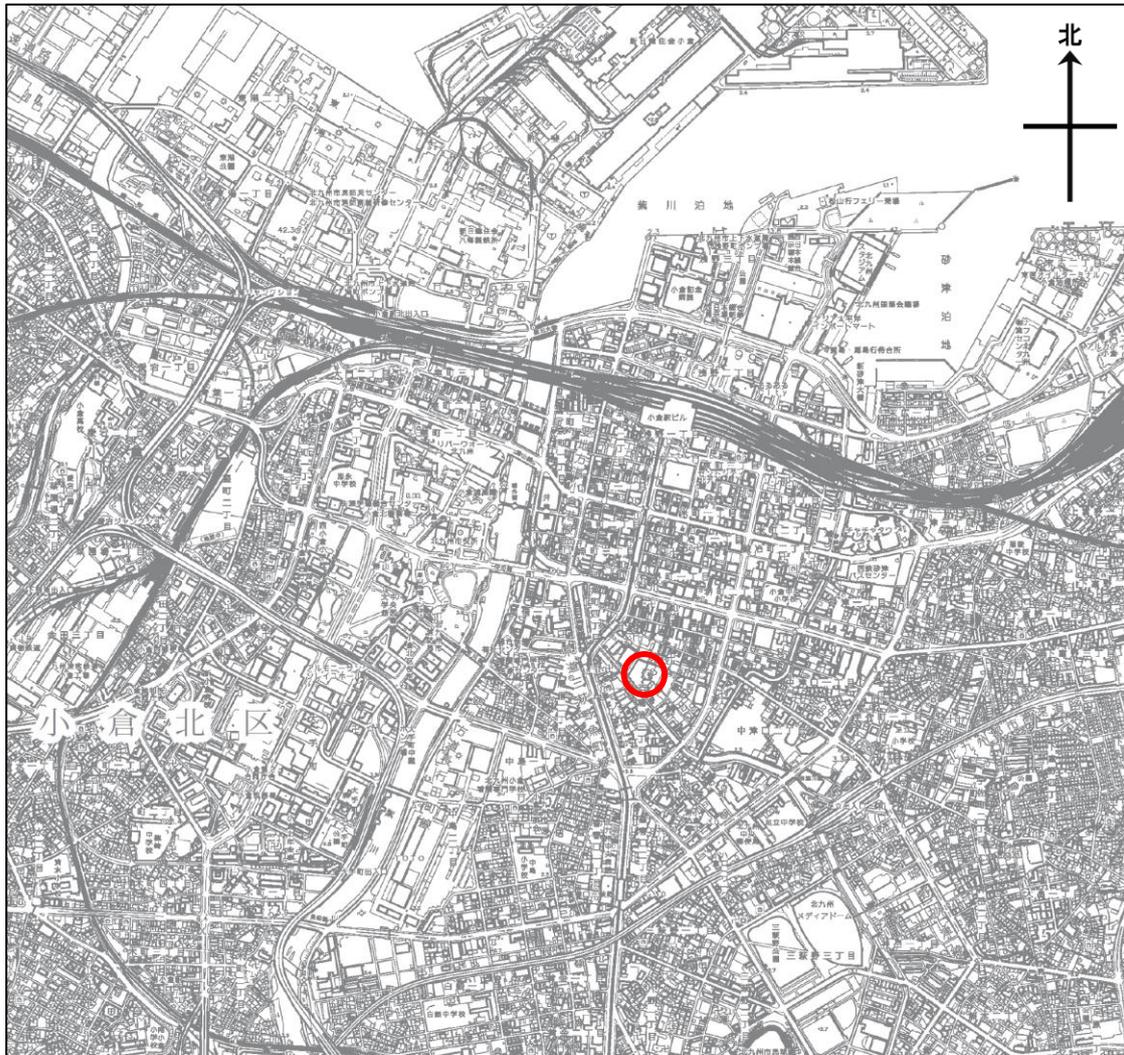
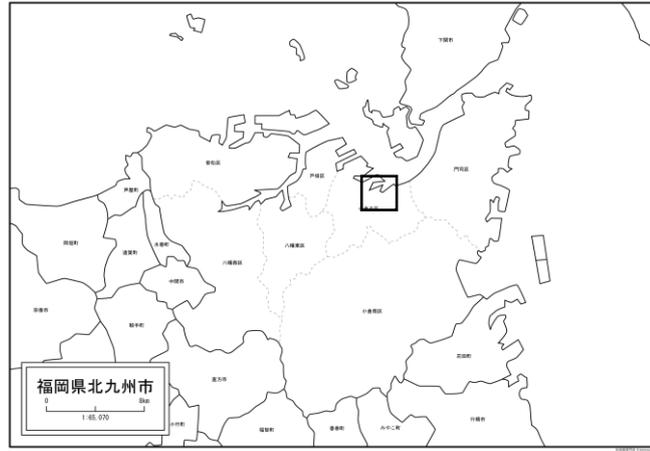
- ・大濠公園（福岡市中央区）
- ・平田氏庭園（小郡市）



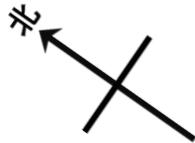
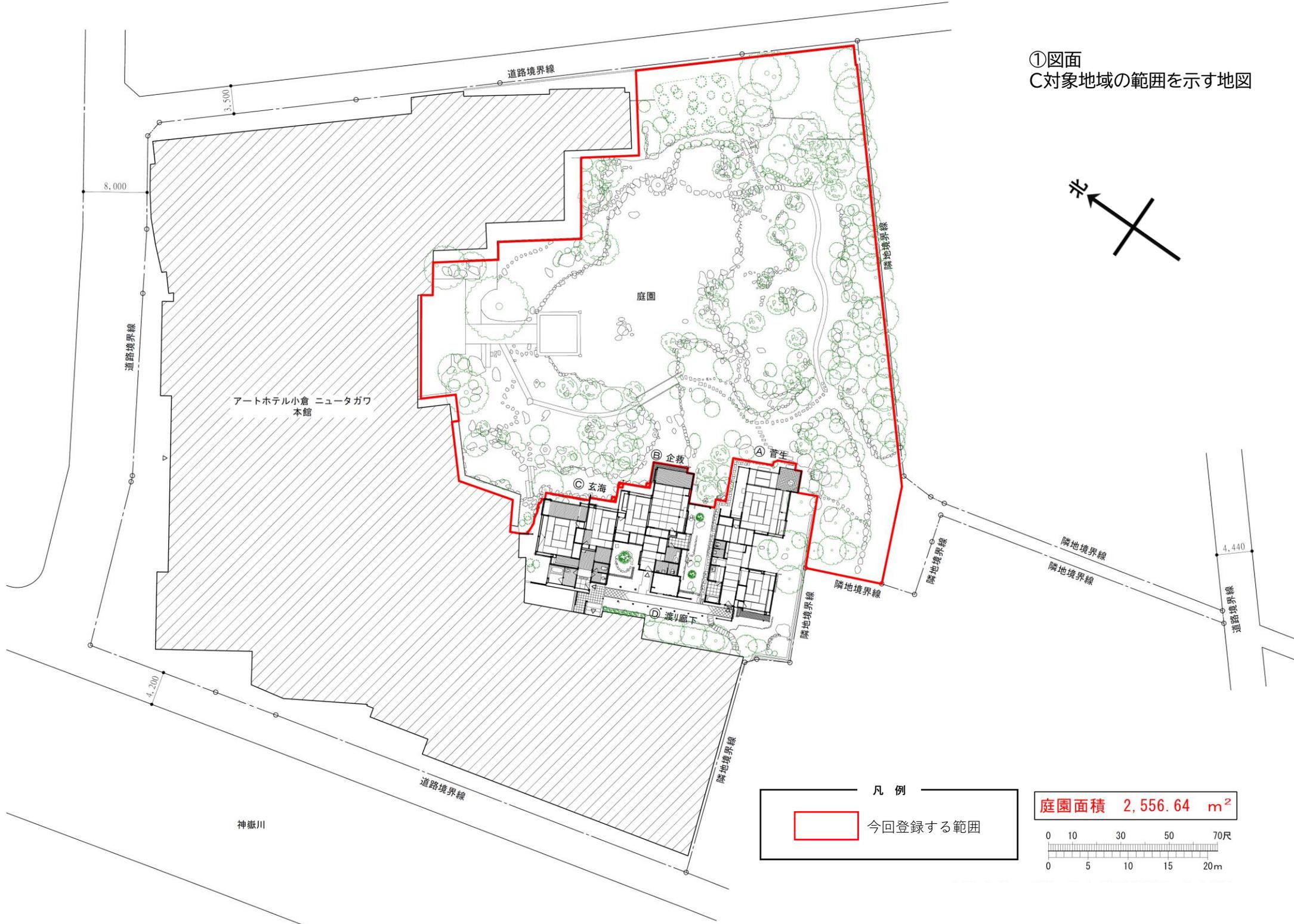
庭園西側

提供：アートホテル小倉ニュータガワ

①図面  
A対象地域の位置を示す地図



①図面  
C対象地域の範囲を示す地図



凡例

今回登録する範囲

庭園面積 2,556.64 m<sup>2</sup>

